

2018年7月24日掲載

「ママのお仕事」

私の主な仕事は講師だ。中学校や大学でのキャリア教育講師、企業・自治体でのビジネスマナーやコミュニケーションなどの研修講師として仕事をしている。外で仕事をしている間は息子を保育園に預けている。

先日、友人から「親の仕事を知らない子どもが多い」と聞いた。そこで息子に「ママの仕事知ってる？」と聞いたところ、「パソコンの仕事」と言われた。帰宅後は、ウェブ上で会議や研修資料の作成などでパソコンに向かっていることが多いためだろう。

先月開かれた「環境広場さっぽろ 2018」の小学生向け職業体験コーナーに「ユーチューバー体験」で出展した。キャリア教育の一環で、著作権などのメディアリテラシーなどを学び、表現力なども磨いてもらった。パティシエや林業などさまざまな体験ブースがあったが、小さい頃から多様な職業に触れることで、将来の選択の視野も広がるように思った。

ソニー生命保険が実施した調査によると、親の仕事に興味・関心を持っている子どもと持っていない子どもで比較すると、興味・関心を持っている子どもは「目標、または夢を持っている」割合が高かったという。親の働いている姿や仕事の話などがかなり影響しているようである。

さて、相変わらず私の仕事を「パソコンの仕事」だと思っている息子。外で働いている姿を見せ、興味を持ってもらおうと考えている。それには私自身がやりがいを持ち、楽しく働くようにしなければ。

(毎日新聞より)